

吉 野 事 務 長

杉 森 政 雄 （事務）

吉野事務長は明年4月1日の定年を待たずに、6月30日付で退職されることになりました。今事務長に去られることは事務室にとって大きな痛手で、できることなら定年まで留まれるようお引止めしたい気持ですが、今となってはどうしてもならず残念です。

吉野事務長は大正4年のお生れで、本年4月1日で満62才になりました。昭和9年横浜市立横浜商業専門学校をご卒業後、東京府の東大庶務課派遣員を経て、昭和10年4月東大庶務課に入られました。昭和16年12月庶務掛長として理学部に移ってこられ、昭和38年7月に田坂前事務長の跡を継いで事務長になられて今日に至りました。

戦中、戦後の混乱を経て今日まで36年余の長い間理学部に尽してこられ、その間定めしご苦勞も多かったことと思われます。

事務長は長いご経験に加えて強い記憶力を持っておられ、古いことをよくご存知で理学部の生字引のような方であることはよく知られておるところです。このことだけでも理学部にとって掛替えのない貴重な方を失うことになります。

事務長は、滅多に冗談を言うことがなく、また笑顔を作ることも余りされない方で、一見堅さ一方のような感じを受けますが、実際は話好きな、さばけ

たところの多分にある方で旅行会や忘年会、その他折々の事務室の催しや会合にはいつも参加されて皆などと一緒によく飲み、よく喋り、乞われて唄うこともたびたびありました。

また映画、演劇がお好きで、一廉の鑑賞眼をお持ちであり、その世界の有名人とのお附合いの多いことはよく知られております。その外にも色々なご趣味をお持ちであることは聞いておりますが詳しいことは分りません。

事務長の退職される日を二旬後に控え、今非常に淋しさを覚えております。大事な柱を失う思いです。定年まで………と願っても今となってはどうしてもならないことで、今はただ、事務長の今後のご健勝とご活躍を心からお祈りするばかりです。